

一般質問

石白議員
白議

質問

- 一、燃料油の高騰対策について
二、まちづくりと住環境の整備について

答弁

一、原油価格の高騰は、あらゆる産業、企業に影響を与え、市民生活を脅かしています。なかでも、本市の基幹産業の水産業、イカ釣漁、ゴチ網、タコつぼ、底引網漁は船を動かさなければ、イリコの製造はボイラーをたかなければ事業が成り立ちません。燃料が高いためと行って、魚の値段にはね返らない。今現実に対応している困っていることに行政が対応し、守ってやらなければなりません。大打撃の水産業、企業に、県、漁連、漁協とも連携をとって、早急に対策をとるべきです。市長の思いきった決断が必要と考えるがどうか。

二、多くの市町村と同様に、本市も人口が減少していますが、本市のうち610市町村では増加しています。全国で一番は、千葉県浦安市、次に愛知県日進市ですが、人口増加の原因は圏域の地域と連携して、安心して子どもを育て、市民の住みやすい安全なまちづくり、居住環境エリアをつくっていくことが人口増加に繋がっています。他市にない松浦市独自の安全性、暮らしやすさを特徴とするまちづくりを進める考えは。

一、燃油高騰の影響は、水産業をはじめとして、多岐にわたっている中で、全体的な視点からとらえる必要があり、直接的な財政支援は不可能と考える。現在、漁協で計画されている「水産業燃油高騰緊急対策基金事業」のスムーズな事業推進や生産性及び漁家収入向上対策の充実を図ってまいりたい。また、漁協と連携して、国、県に対して実効性のある施策実現の要請活動に取り組んでいきたい。

二、地域の自然、食材、人情味等を的確かつ有効にあらゆる地域に広めて、この地域を活性化してまいりたい。あわせて、生活の利便性、快適性を高めるためには、一定の計画を立てて、その計画に沿った取り組みをする必要があることから、松浦市都市計画マスタープランを柱にしたまちづくりが必要である。安全で安心して住める松浦を基本にして、まちづくりに取り組んでまいりたい。

一般質問

松下議員
松議

質問

- 一、市民病院、各診療所運営について

答弁

一、(1)市民病院、各診療所のあり方検討委員会の進捗状況はどうか。
(2)今後は住民の意見を聞くとのことだが、その手法はどう考えているのか。
(3)市民病院及び福島診療所の医師確保の状況はどうか。
(4)市長、所長の医師確保に向けての行動はどうか。
(5)あり方検討委員会の中で、結核病床についての議論はあっているか。
(6)結核病床についての近隣市町村との協議は行ったか。
(7)市民病院及び各診療所の医師住宅の築年数と規模はどうなっているか。
(8)福島診療所の医師住宅の事業費はいくらか。
(9)福島診療所長に住宅に住むよう業務命令したとのことだが、どういう内容か。
(10)福島町民のため、医師確保ができるまで、住んでもらうようにお願ひできないか。
(11)市民病院及び各診療所の組織図の中で、事務長の権限が違うが一本化できないのか。

一、(1)4月から3回開催し、現地視察を行った。また、診療所の今後の役割等について協議を始めたところである。(2)基本的には、地域自治会連合会の役員から聞くこととしている。(3)市民病院は、委託医師1名を含めて常勤が5名である。福島診療所は1名のままである。(4)医師の紹介を行う等医師確保に努力している。(5)これから議論をお願いしていきたい。(6)周辺市町に松浦市民を患者として受け入れてもらっていることから、具体的な行動を見送っている。

(7)市民病院は築12～36年で75.49㎡、福島診療所は築4年で147.28㎡、鷹島診療所は築24～30年で52.35～97.32㎡。(8)約2千510万円。(9)住宅に住むことについて業務命令することはできない。皆さんが安心していただくために、週何日間か夜8時まで診療所に詰めてもらうことを業務命令の形で取りたいという話をした。(10)所長としての責任はあるので、引き続き努力したい。(11)事務長は、院長の命を受けて事務を掌理するものと理解している。